

●地方創生関連事業の取り組み状況について

人口減少・少子高齢化に伴う課題

本町では、人口減少が顕著にあらわれている(10年間で▲8.1%)。
人口減少及び少子高齢化の進行に伴い、農業従事者の高齢化や後継者不足など、主要産業である農業の衰退も進行している。

⇒都会との近接性・田舎ならではの豊かな環境という本町の特長を活かして本町の認知度を上げ、交流人口を増加することで「住みたい」と動機づける契機とするため、いかにして本町に人を呼びこむかが大きな課題である。

地域再生計画：トカイナカナン定住促進計画

大都市近郊に位置しながら自然豊かな美しい町であるという恵まれた環境を活かし、農業や観光の振興を図り、都会的魅力・田舎的魅力を高める。これにより、交流人口及び定住人口の増を目指し、賑わいあふれるまち「トカイナカナン」を実現。

⇒道の駅を「都市住民と農村の交流ステーション」として再生し、地場産品等のブランド化により基幹産業である農業振興を図る。
⇒主要産業である農業や観光の振興を図り、都市住民との交流を促進するため、道の駅の機能向上・活性化と地域公共交通の充実に取り組む。

地方創生推進交付金

トカイナカナン(都会×田舎＝河南町)定住促進プロジェクト

H28		
補助対象額 9,721千円	交付額 4,860千円	府内市町村 16/43

・道の駅直売所増築実施設計
・岩橋山観光インフォメーション
・地域公共交通実証運行 など

H29		
補助対象額 54,726千円	交付額 27,363千円	府内市町村 25/43

・道の駅新棟基本設計等
・岩橋山登山環境整備
・地域公共交通実証運行 など

H30		
補助対象額 7,266千円	交付額 3,633千円	府内市町村 31/43

・道の駅かなん再整備事業
・岩橋山登山環境整備 など

地方創生拠点整備交付金

トカイナカナン(都会×田舎＝河南町)
定住促進拠点整備プロジェクト

第1回(H28補正・H29執行)

補助対象額 60,000千円	交付額 30,000千円	府内市町村 4/43
-------------------	-----------------	---------------

・道の駅直売所増築工事

トカイナカナン(都会×田舎＝河南町)
定住促進拠点一体化プロジェクト

第2回(H29執行)

補助対象額 20,200千円	交付額 10,100千円	府内市町村 3/43
-------------------	-----------------	---------------

・道の駅直売所増築工事

平成30年4月13日にリニューアルオープン！

KPI① 道の駅かなんの売上(千円)

<目標>	<実績>
355,468(H27)	355,468(H27)
→360,000(H28)	→342,920(H28)
→367,000(H29)	→316,773(H29)
→383,000(H30)	→286,786(H30)
	※見込み
→406,000(H31)	
→411,000(H32)	
→412,000(H33)	

KPI② 道の駅かなんの利用者数(人)

<目標>	<実績>
303,944(H27)	303,944(H27)
→314,000(H28)	→291,613(H28)
→327,500(H29)	→276,065(H29)
→343,500(H30)	→295,870(H30)
	※見込み
→360,000(H31)	
→365,000(H32)	
→366,000(H33)	

KPI③ 休日の滞在人口(人)

<目標>	<実績>
11,658(H27)	11,658(H27)
→11,750(H28)	→11,751(H28)
→12,000(H29)	→11,079(H29)
→12,400(H30)	→11,235(H30)
→12,800(H31)	
→13,200(H32)	
→13,600(H33)	

KPI④ 人口社会増減数(人)

<目標>	<実績>
▲73(H27)	▲73(H27)
→▲63(H28)	→16(H28)
→▲40(H29)	→27(H29)
→▲6(H30)	→▲41(H30)
→30(H31)	
→80(H32)	
→90(H33)	